

こんにちは 森林官です!

網走中部森林管理署
北見森林事務所
地域統括森林官
(北見・端野担当区)
菅野 勝雄



たまねぎと焼肉の街

北見森林事務所は、人口約12万人を抱えるオホーツク管内の最大の都市・北見市の中心部にあります。

古くはハッカの生産で栄えた町ですが、現在ではたまねぎの生産が日本一を誇る農業の町でもあります。

近年では、人口当たりの焼肉店の数が北海道一ということもあって「焼肉の街」としても名が知られるようになりました。一方で、北見市はその約66%が森林となっており、中心部から30分も車を走らせれば森林が広がる自然豊かな地域です。

近郊には林業・木材関連産業が立地し、林業・木材産業の盛んな地域でもあります。

地域に親しまれる国有林として

事務所は、北見、端野、日吉、常呂の4つの森林事務所の合同森林事務所として所在しており、この合同森林事務所では北見

市内の国有林約2万1千ha（北見・端野担当区だけでは約1万ha）を管理経営しています。



仁頃山にて：筆者（左）

管内には、一帯が「仁頃山風景林」となっている仁頃山（829m）があり、北見市中心に近く手頃に登れる山として、多くの市民に親しまれています。

また、常呂川中流域の4千ha弱の地域が「オホーツクの森」として設定され、森林散策のための遊歩道や施設が整備されており、気軽に森林浴や野生生物の観察ができるほか、展望台からはオホーツク沿岸地域を一望することができます。

このフィールドを利用して、「常呂川森林ふれあい推進センター」が中心となって自然再生活動や森林環境教育を行っており、毎年6月頃に開催される「オホーツクの森ボランティア育樹」では、事務所職員も総出で参加し、より地域の方々に国有林に親しんでもらおうと日々取り組んでいるところです。



オホーツクの森

東奔西走の日々

日々の業務は、国有林の巡視のほか、森林施業に関する基礎資料となる地況林況調査、各種請負事業の監督業務、境界巡視等、幅広いものとなっています。



地況林況調査の様相

近年では台風・大雨等による、風倒木や林道の崩壊などの被害が多くなっています。

とくに、平成27年10月に発生した台風災害では、北見管内でも多くの林道が被害を受け、各種事業実行の妨げになっていきます。

こうしたことから、日々の林道巡視による崩壊箇所等の点検や維持・修繕が欠かせません。

今後先人が育んできた豊かな森林資源を後世に引き継ぐため、最前線で業務に取り組んで参ります。